こんにちは!戸田の会です。

―戸田市議会会派「戸田の会」政策レポート第2号―

左から、戸田市議会議員

酒井郁郎(39歳)　**金野桃子**(31歳)　**中山祐介**(28歳)　**真木大輔**(32歳)

私たちは、昨年の当選以来、「必要な政策を実現する」「皆さんの声を市政に反映する」「公平な市政を実現する」という同じ志を持つ市議会議員 4 人で会派を結成し、活動しています。この 1 年10か月の間に、私たちは市民のみなさんからいただいた様々なご意見を市政に反映してまいりました。それらの報告と合わせ、このレポートでは、今後の戸田市の課題についてみなさんにご説明させていただきたいと思います。政策について市民のみなさんの活発な議論を起こし、みなさんと一緒に考え、本市が抱える課題に取り組んでまいります。より良い戸田を作っていくために!

戸田の会活動報告 2014

2月

3月議会においては、神保市長の政策方針に対する総括質問を実施。

3月

戸田市の市長選挙にて、投票率アップキャンペーンを駅にて実施。多くの方に足を止めていただきました。

5月

↑都内の発達障害支援事業の視察

10月

来年度に向けた会派の重点政策を神保市長に要望いたしました。

8月

意見交換会を実施。多くの市民のみなさんにお集まりいただき、市政の課題について活発に話し合いました。

7月

↑喜沢小学校にて通級指導教室の視察

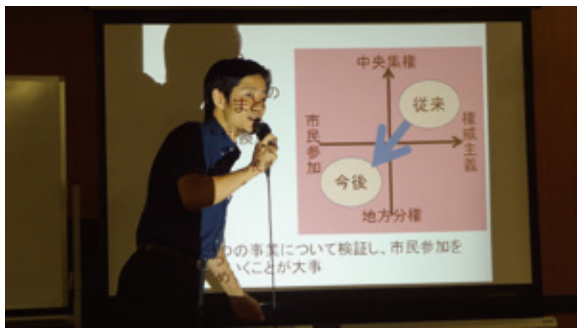
戸田の会は、内容を重視して視察先を決め、視察をして学んだことを戸田市にどのように活かせるかを話し合い、機会をとらえて議会で提案しています。

みなさんのご意見を政策へ!

ご意見を改善につなげます

戸田の会では、みなさんからいただいたご意見を必ず会派会議で検討し、会派メンバーが分担して対応しています。その進捗は、会派ホームページ内の「ご意見対応システム」でリアルタイムに公表しています。本システムの目的は、「市民のみなさんの声を余すことなく集め、活かす」こと。私たちの取り組みをぜひご覧ください。

市民のみなさんから直接ご意見をいただく「意見交換会」を開催（14年8月）



「ご意見対応システム」運用開始から1年強の実績

受付ご意見数	要望・提案活動	改善・改善見込
208件	129件	97件

ご意見の進捗状況は会派ホームページで公表

http://todanokai.com/

例えば…

※詳しくはホームページをご覧ください。

学童保育のおやつが変わります

ご意見

「学童保育のおやつは駄菓子ばかり」（保護者の方より）

対応

給食・おやつの食材の厳選、食品添加物の削減を要望。

改善

自然なお菓子を中心としたおやつに内容を一変（平成26年度中）。

浄化槽の適性検査で環境向上

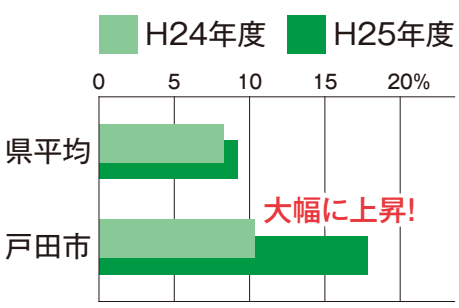
ご意見

「川の環境のため、浄化槽法定検査の受検率向上を。」

対応

市長名での通知の送付、説明会の実施などを提案。

改善



通知送付と説明会が順次開始。受検率は大幅に向上。

ゴミ・タバコがきれいになります

ご意見

「駅前や国道のゴミのポイ捨て、歩行喫煙がひどい。」

対応

喫煙制限区域の指定、罰則化、指導員配置などを要望。

改善

区域指定などを一体として早期かつ前向きに検討。

《自転車は左》の徹底で事故減少

ご意見

「逆走する自転車が多く、とても危険。」

対応

公用自転車の前かごへの《自転車は左》掲示を提案。

改善

本年7月に試験運用が開始。すれ違う逆走自転車への啓発に。

みなさんと考えたい!

私たちの考える戸田市の課題です。みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

行政改革 戸田競艇

私たちの視点 危機的な経営状況の共有を!

戸田市に累計1200億円以上の収入をもたらしてきた戸田競艇。しかし、売上は下がり続け、積み立てた基金も底をつき、このままいけば赤字の埋め合わせに戸田市からの資金の投入が必要となる可能性もあります。

情報提供も乏しく、市民の知らない間に経営危機が進行。現在はコンサルタントを経営トップに招へいする異例の措置がとられ、経営改善が図られています。

■ 戸田競艇から戸田市への配分金

平成3年	▶	平成26年
52億円		3億円(予算)

基金を切り崩し捻出

経営改革に成功した他市の競艇場でヒアリング

経営改善の効果に注目。まずは戸田競艇の経営状態を市民に報告すべきでは。

子育て・教育 わいせつ・いじめ

私たちの視点 事件防止と調査徹底を!

市内の施設などで、職員によるわいせつ行為を疑われる事案が起きています。しかし、職員の不祥事を防止するための「公表」「採用」「研修」等の体制がいまだ整備されていません。

また、学校でのいじめを調査するために設置された「戸田市いじめ問題調査委員会」には、学校や教育委員会からの独立性がなく、調査の公平性や透明性に疑問が残ります。

■ 戸田市「いじめ問題調査委員会」

調査委員の嘱託	教育委員会
委員会規則の策定	教育委員会
会　議	非公開
議事録	非公開

会派で市内の保育教育施設を視察

不祥事防止の積極的な取り組み、いじめを徹底的に調査する体制づくりが必要と考えます。

生活・経済 マンション

私たちの視点 新しい住民にも安全と情報を!

戸田市ではマンションなどの集合住宅が増え続けており、いまや市内の世帯の半数以上を占めるまでになっています。

そのような中で、町会に未加入のマンションにおいては、①市広報が配達されず、市の行政サービスを初めとする情報が伝わりづらい、②市の防災対策が限られ、災害への備えが進んでいない、などの課題があります。

町会未加入率は40.8%

(平成26年4月1日現在)

喜沢二丁目自主防災会の防災訓練に参加

町会の支援と共に、マンション住民への情報提供や防災対策における遅れを是正すべきでは。

医療・福祉 医療費

私たちの視点 増え続ける医療費への対応を!

戸田市の健康寿命※は県内で一番短く、また前期高齢者(65歳~74歳)に掛かる医療費は県内で一番高くなっています。

ひっ迫した国民健康保険財政を立て直すには、予防医療の推進により高齢者の方々の健康を維持することに加えて、無駄な医療受診がないかレセプト(医療報酬請求書)をきちんとチェックし、医療費の適正化を図ることが必要です。

※健康寿命=65歳以上の人が要介護2になるまでの期間

■ 戸田市の国保医療費(平成24年度)

	一人当たりの金額	県内順位
市民全体	25万4534円	県内一低い
前期高齢者	51万5158円	県内一高い
市からの繰入金	4万5754円	県内一高い

超音波骨量測定を体験

予防医療の推進と、医療受診・投薬の適正化が必要と考えます。

地方議会のあり方

「政務活動費」とは調査研究に必要な経費として交付される費用のことです。戸田市議会では、議員一人当たり月4万円(年間48万円)が会派に支給され、領収書原本の提出が義務付けられるとともに、収支状況も公開されています。

私たち戸田の会は、主に「広報費」として市民の皆さんに議会活動をお伝えするために使用しています。ちなみに、このレポートの印刷・配布費用も「広報費」です。

なお、議員の海外派遣については、戸田の会は従前から「見直し」を掲げており、早期の再検討を推進してまいります。

酒井郁郎 さかい いくろう

1975年3月4日生まれ
無所属、2期目、会派代表
【学歴】東京大学医学部健康科学看護学科卒業、同大学院修了（医療政策）
【職歴】マッキンゼー（経営コンサルタント）、㈱ポピンズ（保育）勤務、会社経営（医学教育）

市民が最優先。

しがらみのない立場で、「既得権を持った一部の人」ではなく、
「市民」の意思を反映してまいります。
1. 市民の意思を反映しやすい制度を作ります。
2. 市民の意思に沿った政策を推進します。
3. 市民に市政の情報と選択肢を提供します。

真木大輔 まき だいすけ

1982年3月7日生まれ
無所属、1期目、会派副代表
【学歴】東京大学教養学部基礎科学科卒業、同大学院（駒場素粒子論）中退
【職歴】講師業（予備校講師）

教育が人をつくる。

政治家となったいまでも、その考えは変わりません。
教育をはじめ、子育て、まちづくり、交通体系、安全対策などについて今後戸田市が進むべき正しい方向性をしっかりと掴み、市民のみなさんとともに学び、そして未来への思いを託すことのできる議員として、これからも誠実に活動し続けたいと考えています。

金野桃子 こんの ももこ

1983年3月2日生まれ
無所属、1期目、会派副代表
【学歴】慶應義塾大学文学部卒業、同大学院法務研究科修了
【職歴】内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書

世の中の役に立ちたい！

「世の中の役に立ちたい」— 幼い頃からの私の夢です。内閣府では被災者支援に、国政では社会保障政策に取り組みました。そこで学んだことは「人は街によって育てられ、やがて自分たちが街をつくっていく」ということ。いまだ試行錯誤の日々ですが、皆さんの応援を力に変えて、“自分が育った街、戸田”のために一生懸命頑張ります！

中山祐介 なかやま ゆうすけ

1985年11月9日生まれ
無所属、1期目、会派副代表
【学歴】法政大学地理学科卒業、都立大学大学院修了（理学修士）
【職歴】㈱建設技術研究所を退職後、土地家屋調査士・測量士事務所として独立・経営。

ひたむきに働きます！

戸田は荒川や笹目川をはじめとした河川、彩湖や道満グリーンパーク、ボートコースなどの施設に恵まれた「水のまち」です。全国のお手本となるような環境として、まちづくりをすすめ、自然を脅威としないためのインフラ整備や防災対策の徹底により、もしもの時でも安心・安全なまちにしていきます。

戸田の会について

「戸田の会」という会派名には、戸田のために働くという意味が込められています。旧来の対立構造にとらわれず、これからの戸田のために何をすべきかを第一に考えて行動し、その取り組みがやがて日本の将来につながるよう、力をあわせて頑張ってまいります。

【会派理念】

一、必要な政策を実現するために

○時代の流れを読み、未来を見据えた政策を立案します。
○政策の妥当性について、費用対効果、先行事例、市民の支持などの観点から十分に検討します。
○政策実現のために、議会内外での提言や交渉など可能な限りの手段を尽くします。

一、皆さんの声を市政に反映するために

○市政について広くお伝えし、市民の皆さんへの情報提供に努めます。
○市民の皆さんからのご意見を広くお聞きし、市政への問題意識の共有に努めます。
○いただいたご意見を政策に集約し、目に見える改善に努めます。

一、公平な市政を実現するために

○特定の人物や団体への利益誘導ではなく、市民全体の利益のために行動します。
○既得権益を打破し、行政の効率化と民間の活性化を促します。

ご意見募集中

戸田市政について、戸田の会の活動についてなど、みなさんのご意見をお寄せください。

ご意見受付 → 会派会議で議論 → 対応（進捗を公開） → 市政に反映

みなさんからいただいたご意見のすべてを、会派会議で議題として取り扱っています。対応の進捗状況は会派ホームページで確認いただけます。

ご意見送付先

❶ホームページのフォームから：
http://todanokai.com/
❷電子メール：info@todanokai.com
❸電話／FAX：048（234）8435（真木）
❹郵便：戸田市喜沢2-19-10-202（中山）

発行者：戸田の会